

中高一貫教育

- 全国で最初の公立の中高一貫校として平成6年度に開校しました。
- 6年間を見通した指導計画によって、効果的・一貫的な教育を行うことができます。
- 1～3年生を前期生、4～6年生を後期生と呼んでいます。
- 大学進学をめざす先輩を身近に見ることで、早い段階から進路についての意識が高まります。



● 前期生は後期課程(高校)の先生方からも学ぶことで、早くから、より専門的な内容に触れられ、興味関心がさらに高まります。



寮での学習の様子です。上級生が下級生に勉強を教えたり、グループで学習会を行ったりします。

少人数指導

- 全校生徒240名に対し、教職員43名。各学年1学級なので、手あつい指導を行うことができます。



教科によっては、10名前後の少人数で授業を受けることもあります。



様々な工夫を凝らした授業を行っています。

- 個別指導を定期的に行っています。



朝の個別指導の様子です。



- 昼休みや放課後、夜の寮での時間など、勉強の質問や様々な相談に来る生徒がたくさんいます。先生方は生徒一人一人に時間をかけて対応することができます。



大学の先生を招いて授業を行っています。

- ファミリー制度も少人数指導のひとつです。1年生から6年生までの1人から2人ずつを1班として、担当の先生がつき、様々な活動を通して家庭的なつきあいをします。ファミリーで昼食会や夕食会、菜園活動などを行っています。



わらじづくりの様子です。6年生が1年生に教えています。



少人数ならではの、教室を自由に使った授業ができます。